

がん免疫療法の光と影

日時:令和7年1月26日(日) 13:30~15:30

場所:神戸大学医学部附属病院 シスメックスホール

応募方法:はがきに参加希望人数、氏名、郵便番号、住所、年齢、性別、電話番号、講師への質問を明記し、〒650-8571(住所不要)神戸新聞社企画推進部「市民公開講座」係へ。

ファクス(078-361-7802)、メール(oncology@kobe-np.co.jp)でも可。1月13日(月・祝)必着。

※応募多数の場合は抽選。当選発表は聴講券の発送をもって代えます。個人情報厳重に管理し、当事業以外には使用しません。感染症予防のため、当日は可能な限り、マスクの着用をお願いします。

講演①:免疫チェックポイント阻害薬ってどんな薬?

薬剤部 山中 優希 薬剤師

講演②:免疫チェックポイント阻害薬の登場で

がん治療はどう変わったのか? ~これまでとこれから~

腫瘍センター 清田 尚臣 特命准教授

講演③:知っておきたい、免疫チェックポイント阻害薬の

副作用と早期発見のためのポイント

呼吸器内科 立原 素子 准教授

神戸大学医学部附属病院
(地域がん診療連携拠点病院 機能強化事業)
(がんゲノム医療拠点病院 機能強化事業)
(がん相談支援センター がん患者サロン)

神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター
神戸大学大学院医学研究科
(阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン)
神戸新聞社



阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

文部科学省採択事業
次世代のがん
プロフェッショナル養成プラン